

子どもの健康づくり連携事業〈専門医の派遣〉実践例

中学校②

〔専門医による講話〕

1 テーマ 「薬物乱用・ネット依存防止について」

2 対 象 全校生、教職員、保護者

3 専門医 成重 竜一郎 医師
(若宮病院)

4 実施月 12 月

5 内 容(キーワード)

薬物の危険性、乱用とは、薬物から身を守る方法

ネット依存とは、ネット依存の恐ろしさ、正しいネットの使い方



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

(○)とても有効だった

()有効でなかった

()課題が残った

<その理由>

*本校の生徒の現状に合わせた内容を盛り込んだ講話をしていただけた。専門的な立場からお話しいただき、生徒の心にも響いたようだった。特にゲーム依存・SNS 依存の内容が印象的だったようで、ゲームや SNS との向き合い方について改めて考える機会となった。

②校内の組織づくりについて

(○)とても有効だった

()有効でなかった

()課題が残った

<その理由>

*体育主任・養護教諭を中心に、生徒の現状やお話していただきたいことについて、情報共有できた。また、指導者との連絡調整や会場準備など、教職員で連携し実施できた。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

(○)とても有効だった

()有効だった

()課題が残った

<その理由>

*メールを通して、当日お話しいただきたい内容、当日の流れ、準備物品等について、事前に指導者と情報共有ができた。また、専門医の先生より、職員向けの講演会についても実施可能であると伺い、今後の研修内容を検討するうえでの参考となった。

〔受講者の感想など〕

○依存というのは、何も自分の周りにないときに起きやすいのだと分かった。

○中毒と依存は同じだと思っていたが、言葉の意味を知り、結構違うことだと感じた。

○ネット依存の話からは自分に当てはまるが多かったのも、SNS やゲームとの関わり方を考えたい。

○依存にならないために、現実世界での人との関わり方を大事にしていきたい。



〔教科やその他の指導との関連性〕

○2年生の保健で薬物乱用防止の学習を行った。3年生も昨年度学習しており、授業で学んだ内容よりも専門的な話を聞かせていただき、生徒達の学びがさらに深まっているように感じた。